

東海三県初となる待望の石崎光瑤展

近代京都画壇で活躍した日本画家石崎光瑤の回顧展です。明治17年(1884)富山に生まれた光瑤は、京都に出て竹内栖鳳に師事し、大正元年(1912)第6回文展で初入選を果たします。5年(1916)インドへ渡り、9か月にわたって自然美の古跡を取材。帰国後手がけた《熱国妍春》《燦雨》が文展・帝展で特選を連続受賞し、一躍注目を集めました。11年(1922)にはヨーロッパを遊学、その後も古画に学ぶなど研鑽を積み、晩年は穏やかな格調高い境地に到達します。本展では代表作《燦雨》をはじめ、各時代の佳作を展覧。下絵・スケッチなどの資料も交え、50年に及ぶ画業を振り返ります。

Ishizaki Koyō

特別展 南砺市立福光美術館コレクション

石崎光瑤

—熱国に魅せられた花鳥画家—

2026 4.25 sat - 6.21 sun

前期 4/25~5/24 後期 5/26~6/21

※前後期で作品が入れ替わります。

《奔湍》昭和11年(1936) 後期展示



《隆冬》昭和15年(1940) 前期展示



《雪》大正9年(1920) 前期展示



《寂光》昭和4年(1929) 後期展示



《秋光》大正14年(1925)頃 通期展示



《燦雨》大正8年(1919) 通期展示

※本展は名都美術館のみで開催し、巡回は致しません。

イベント情報

◎特別ギャラリートーク

4月25日(土)11:00~ 渡邊 一美氏(南砺市立福光美術館館長)

◎当館学芸員によるギャラリートーク 各日14:00~

前期=5月3日(日・祝)、13日(水)、23日(土)

後期=5月30日(土)、6月7日(日)、17日(水)

※参加ご希望の方は当日鑑賞券が必要です。

※スケジュールは都合により、日程・内容を変更する場合があります。

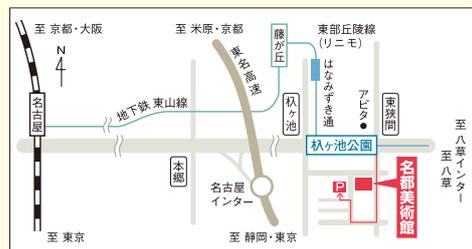
企画展 岩倉壽生誕90年記念 岩倉 壽と鳥頭尾精 —鳥と自然と—

2026年 前期=7月17日(金)~8月9日(日)

後期=8月21日(金)~9月13日(日)

一般財団法人 林美術財団
名都美術館
MEITO ART MUSEUM

〒480-1116
愛知県長久手市秋ヶ池301番地
TEL 0561-62-8884
<https://meito-museum.or.jp/>



公共交通機関ご利用の場合 ●東部丘陵線(リニモ)「秋ヶ池公園」駅下車、2番出口から歩道を右方向へ進み、東狭間交差点を右折(徒歩5分)。お車をご利用の場合 ●名古屋方面より名古屋インターを越えてから8本目の信号東狭間交差点を右折。●駐車場は東狭間交差点から南へ、当館の前を通り過ぎた1本目を右折。次の角を右折。約100m直進した当館西側の専用駐車場(43台)。